

演 題：豚の腎臓腫瘍

機 関 名：豊橋市食肉衛生検査所

氏 名：渡邊 菜美

動 物 名：豚

品 種：雑種

性 別：去勢

年 齢：6ヶ月

病 歴：なし

生体所見：なし

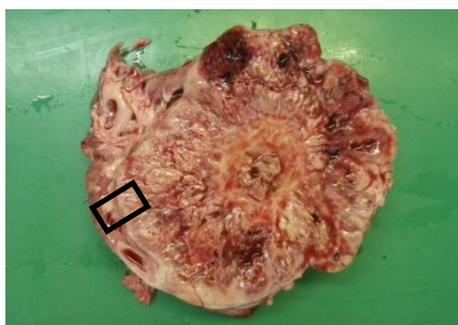
内臓所見：右腎臓に22×20×13cmの乳白色腫瘍を認めた。腫瘍の表層には菲薄化した腎臓が付着しており、腎実質との境界は明瞭であった。断面は不規則分葉状を呈し、出血壊死傾向が強く、周辺部に白色充実性の部位を認めた。肝臓、脾臓、胃腸の漿膜面及び大網には直径0.3～3cmの乳白色腫瘍が散在し、肝臓では実質内に侵入しているものも認めた。横隔膜には腹腔面と胸腔面に直径0.5～6cmの乳白色腫瘍が密在していたが、筋肉内への侵入は認めなかった。肺の左右前葉及び後葉辺縁部実質内に直径0.5～1cmの乳白色腫瘍の散在を認めた。

組織所見：腎臓腫瘍は壊死傾向が強く、一部石灰沈着を認めた。腫瘍実質は結合組織で不規則に区画され、管腔上皮様の細胞が主体をなしていた。この腫瘍細胞は円柱状で細胞質に富み、円形から類円形の淡明な核を有しており、核分裂像も認められた。一部細胞質に乏しく、類円形から多形の比較的淡明な核を有する腫瘍細胞を認めた。原発巣の中でも、上皮様の腫瘍細胞が管腔構造を主体とする部分、シート状を主体とする部分など、採材部位による差がみられた。肺その他転移巣では、腫瘍実質にシート状～管腔構造を主とする上皮様の腫瘍細胞の増殖を認め、細胞質に乏しい腫瘍細胞はほとんどみられなかった。

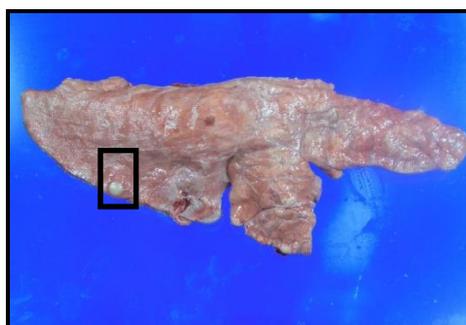
固定方法：10%中性緩衝ホルマリン

切り出し部位（図示）

① 臓腫瘍



② 肺腫瘍



行政処分：全部廃棄

組織診断名：腎芽腫（上皮型）

疾病診断名：腎芽腫